

中国編

【1】 地球環境：カーボンピークアウトの実施動向 —2030 年までの目標が明確に **全 8 ページ サンプルのためリンクは切っています。**

法律/政策の名称	(1) カーボンピークアウトとカーボンニュートラルの完全、正確かつ全面的な実施に関する意見 (2) 2030 年までのカーボンピークアウト行動計画
現地語名称	(1) 关于完整准确全面贯彻新发展理念做好碳达峰碳中和工作的意见 (2) 2030 年前碳达峰行动方案
公布/施行日等	(1) 2021 年 10 月 24 日 (2) 2021 年 10 月 26 日
カバー期間	2022 年 12 月 1 日〜2023 年 12 月 31 日まで

このテーマの基礎知識
を簡潔に説明

バックグラウンド情報

■中国習近平国家主席は2020年9月に、国連総会で2030年までのカーボンピークアウト、2060年までの実質的なカーボンニュートラル達成目標を表明した。その後、中国の立法機関である全国人民代表大会の2021年3月に開催された会議では、カーボンピークアウトとカーボンニュートラルの各活動を着実に実施し、2030年までのカーボンピークアウト行動計画を策定することが中央政府の重要任務として取り上げられた。中国共産党中央委員会および国務院が2021年10月24日に「カーボンピークアウトとカーボンニュートラルの完全、正確かつ全面的な実施に関する意見」を発表し、カーボンピークアウトに関する全体的な方向性を示した。そして、同意見で定められた方針を踏まえて、国務院は2021年10月26日に、「2030年までのカーボンピークアウト行動計画」を発表した。同計画では、2030年のカーボンピークアウトに向けて、産業サプライチェーンや生産活動の安全を保障した上で、秩序を保ちながらピークアウトを実現すべきとしており、10項目について具体的な取り組みや目標などが掲げられている。

2025 年までの目標：

- ・単位 GDP 当たりのエネルギー消費量

サンプルのため詳細は割愛

2030 年までの目標：

- ・単位 GDP 当たりの二酸化炭素排出量を 2005 年比で 65%以上削減。非化石**サンプ**
ルのため詳細は割愛

実際の取り組み項目（計 10 項目）：

- ・エネルギーのグリーン低炭素転換

サンプルのため詳細は割愛

- ・各地域における秩序だったカーボンピークアウト

■各中央省庁が「2030 年までのカーボンピークアウト行動計画」に基づき関連政策を打ち出している

財政部	2022 年 5 月 30 日	カーボンピークアウト・カーボンニュートラル達成業務の財政支援に関する意見
住宅都市建設部 国家発展改革委員会	2022 年 6 月 30 日	都市農村建 計画
工業情報化部 国家発展改革委員会 生態環境部	2022 年 8 月 1 日	工業分野で

サンプルのため詳細は割愛

最近の主な動向

■「国家カーボンピークアウト試験事業構築計画」の発表

中国国家発展改革委員会は、2023 年 10 月 20 日、「国家カーボンピークアウト試験事業構築計画」を発表した。同計画は、「2030 年までのカーボンピークアウト行動計画」などの政策を徹底的に実施するために策定されたものであり、全国 100 箇所の代表的な都市や工業団地でカーボンピークアウトのモデル事業を実施し、その経験を踏まえて、全国で実行可能、かつ、普及可能な手法を提供することを目的としている。

重点プロジェクト：

各モデル事業において、それぞれの事業目標を踏まえた上で、エネルギーインフラ施設、省エネ・脱炭素改造、先進技術の試験事業、環境インフラ施設、資源リサイクル、生態環境修復などの分野において一連の重点プロジェクトを実施する。

試験事業実施都市：

河北省、山西省、内モンゴル自治区、遼寧省、黒竜江省、江蘇省、浙江省、安徽省、山東省、河南省、湖北省、湖南省、広東省、陝西省、新疆ウイグル自治区の 15 省（自治区）を対象に、計 35 のプロジェクトを第 1 次試験事業として実施する。

※試験事業実施地域には、日系企業が多い江蘇省、浙江省や山東省も含まれているため、

以下はサンプルのため見出しのみ紹介する。

■「カーボンピークアウト・カーボンニュートラル認証制度の実施に関する意見」の発表

■中央政府の政策に基づき、多くの地方政府が関連政策を発表している。主な地方政府が発表した政策を下表に纏める。サンプルのため詳細説明は割愛し、タイトルのみ紹介する。

天津市	カーボンピークアウト実施計画（2022 年 9 月 14 日発表）
北京市	カーボンピークアウト実施計画（2022 年 10 月 13 日発表）
江蘇省	カーボンピークアウト実施計画（2022 年 10 月 2 日発表） 工業分野や重点業種でのカーボンピークアウト実施計画（2023 年 1 月 12 日発表）
湖南省	工業分野カーボンピークアウト実施計画（2022 年 12 月 22 日発表）
河北省	カーボンピークアウト実施計画（2023 年 1 月 15 日発表） 工業分野カーボンピークアウト実施計画（2023 年 3 月 7 日発表）

山東省	工業分野カーボンピークアウト業務計画（2023 年 4 月 28 日発表） 。
福建省	工業分野カーボンピークアウト実施計画（2023 年 7 月下旬に発表）
四川省	汚染物質・二酸化炭素削減相乗効果行動計画（2023 年 7 月 19 日発表）
広東省	二酸化炭素排出権取引によるカーボンピークアウト・カーボンニュートラル支援実施計画（2023～2030 年）（2023 年 8 月 22 日発表）

今後の展開とスケジュール

■カーボンピークアウトに関する国家標準の策定や改正

ここ 2～3 年の間に、中央政府から地方政府まで、カーボンピークアウトに関する政策が相次いで公表されているが、カーボンピークアウトを実現するために、2025 年までに 1000 本の国家標準・業界標準の制改定を実施するとの目標が掲げられている。

サンプルのため詳細説明は省略

■カーボンピークアウトに関する業界標準の策定や改正

サンプルのため詳細は割愛

EnviX 展望と見解

中国では、二酸化炭素排出削減と経済発展のバランスを調整するため、2019 年より前から取り組みが進められている。例えば、**全国炭素排出権取引制度（全国 ETS）**は、世界の炭素市場への参加から、省の炭素排出権パイロット事業の立ち上げ、そして徐々に全国 ETS の確立へと発展しており、2021 年 7 月、中国の全国 ETS 市場は 10 年間の準備期間を経て正式に運用段階に入り、世界最大規模の ETS 市場となった。全国 ETS 市場の規模は今後とも拡大するとともに、厳しい措置が実施されることが予測される。

また、カーボンピークアウトの実現するための重要な制度である**中国認証排出削減量（CCER）**は 2013 年に開始されており、現在、中国における主要な自主的カーボン・クレジット・プログラムとして機能している。

自主的に二酸化炭素排出削減に参加する企業は**カーボンニュートラル認定書**（中国語：碳中和证书）を取得することができる。この認定書はある一定期間（通常 1 年間）において、カーボンニュートラルを達成したことを証明するものであり、企業ブランドイメージ向上

を目的とするマーケティングに利用することもできる。

2023 年 11 月現在、カーボンニュートラル認定書の共通様式がなく、各パイロット取引所がそれぞれ独自の認定書を発行しているが、今後、全国規模の CCER 取引プラットフォームが整備されるに伴い、全国共通のカーボンニュートラル認定書が発行されるようになると思われる。

【2023.11.30 YJ】